



株式会社 REGBODY 様

URBAN PLAN PRESS

働き場改革

WORKS・事例紹介

DPT / S 社

NDR・NEXTA / セミナーレポート

PICK UP

UP Freshers

URBAN PLAN OFFICE

TAKE FREE

Vo.003

DPT /NAGOYA



オフィスの拡張・新規開設と聞いてまず思い浮かぶのは、従業員の増員や営業範囲の拡張だろう。名古屋市中区に開設されたDPTのオフィスも、広義ではその一環。業務用システム開発やエンジニアの派遣、求人情報サイトの運営などを展開する同社では、人材不足が慢性化するものづくり分野を支えるための施策が、自社の成長につながっているようだ。

今年8月から9月にかけて順次オープンした新栄オフィス。本社からほど近いビルの7～8階・合計320坪を確保して郊外にあった研究開発部門を移転。利便性を向上させるとともに、新たに研修センターも併設して人材育成機能も持たせた。

核となるのは8階のオフィス。40人ほどが常駐し、機械系と情報システム系の設計業務などを行っている。

デスクの配置は余裕を持たせ、セクションごとの仕切りもゆるやか。増員や期限付きの開発プロジェクトなどにも対応できる柔軟な空間だ。

7階フロアの約半分を占める「テクニカルセンター」では、主に人材教育を行う。同センター内にはスクール状にデスクを配した大部屋が並び、廊下にはDPTの沿革

技術を紹介するパネルが設置されている。白を基調としたシンプルな内装からは、研究所や教育機関を髣髴とさせる清潔感がただよう。この空間は、従業員研修やクライアントとの共同開発などを行うために設置されたもの。講習や打ち合わせだけでなく、機材を持ち込めば実際の開発室としても使用できる。もっとも大きな部屋は、セミナールームとして使えば120名まで収容可能だ。7階の残り半分は、カフェのような設えのリフレッシュルーム。一日中デスクに張り付いて仕事をする人が多いエンジニアたちに、少しでもリフレッシュしてもらえればと新設した。最近ではタブレットを持ち込んで仕事をするエンジニアの姿も見られるようになった。テクニカルセンターと連携した社外向けイベントなど、幅広い使い方も想定されている。

新栄オフィスの開設を主導した同社R&D事業部の長澤有時部長は、「当社の業務の基本はひとつづくりと開発力にあります。主力となるエンジニアを集めて育てることが、そのまま事業の強化につながります」と話す。これまでも人材育成スキームはあったが、業務内容に応じたOJTが主流だったという。「実は今も、この空間を最大

化するために様々な活用法を考えているところです」と同氏。「こうした空間が生まれたことで、『できること』は飛躍的に増えました。『場』が先にできたことで、それを活用するための議論が深まったという面もあります。成長のための伸びしろが生まれたという感じです」。来春には170人の新入社員を迎えるDPT。オフィスが広がると、企業の可能性が広がる。



R&D 事業部部長 長澤氏

COMPANY NAME：ディーピーティー株式会社

ADDRESS：愛知県名古屋市中区葵 1-20-22 セントラル名古屋葵ビル7・8F

PROJECT：移転

HP:<http://www.dpt-inc.co.jp/>

S社 /YOKOHAMA



今年7月に発足した新日本海洋社。合併で生まれた同社の主業は、曳船業だ。横浜や千葉をはじめ東京湾内に計27隻のタグボートを保有し、客船やタンカーといった大型船の接岸・離岸の補助や、航路内での前路警戒などを通じて海運を支えている。

合併によって新設された本社オフィスでは、約70人が働く。300人弱の従業員のうち200人以上が船員だから、その主な働く場は海とっていい。新本社オフィスの開設にあたって、まず重視したのは海とのつながりだという。

今年3月に合併と本社オフィスの集約移転が正式決定し、4月には物件内覧、9月に新本社オフィスオープンと、道のりはつねに駆け足。限られた時間のなか、唯一こだわったのが「横浜港が見えるオフィス」。保有船舶の多くが母港とする横浜港は、合併前から最大の営業エリアでもあるのだ。同社取締役の大塚直子氏は、「従業員の通勤という実利的な意味もありますが、長年活動の場としてきた横浜の海を離れることは考えられませんでした」と話す。

幸い2方向が海に面した270坪の物件を見つけ、即決した。しかし合併前の2社のオフィスは、合計340坪。従業員はほぼ倍増するのに、面積は2割以上減ってしまう。だ

が新本社オフィスに、閉塞感はまったくない。大塚氏は「以前のオフィスは、1社は古くて使い勝手がよくなく、もう1社のオフィスはデッドスペースが多すぎたんです」と笑い、「面積は問題にならなかった」と言う。それよりも注力したのが「風通し」だ。

「文化も仕事の進め方も異なる2社が合併するのです。両社の間に『壁』ができてしまうのを防ぎたかった」と大塚氏が話す通り、同社新本社オフィスの執務スペースには仕切りが全くない。物理的な壁を設けないことで社内の風通しを良くし、セクショナリズムの台頭を防ぐ。

「交じり合うためには上の者が率先しないと」（大塚氏）ということで、社長以外の役員も個室はなし。全員が同じ執務スペースで業務を行っている。施策は奏功し、従業員同士に垣根はまったく見られないという。

曳船業ならではの設備も設けた。国内唯一というタグボートシミュレータ。離接岸作業を様々な条件でリアルに再現できるもので、以前は会議室の一角に置かれていた。それが今、会議室が並ぶ来客スペースに専用ルームがある。「従業員のスキルアップに対する姿勢をクライアントに示すことで、信頼アップにつながれば」（大塚氏）との

理由からだ。それともうひとつ。人手不足がすすむこれからの時代、ただでさえ曳船業は広く知られている仕事ではなく、この業界を志望する人は陸も海も多くない。「経験でしか学べなかった曳船作業がバーチャルで学べる。未経験者にも興味を持ってもらえれば」。リクルーティングにも期待がかかっている。



総務部 部長 大塚氏

NDR/NEXTA /OSAKA



いつごろからだろうか。IT業界の人手不足が顕在化してきたのは、知識集約型であり資本集約型であると同時に、労働集約型ビジネスでもある。そんなIT企業に必要な人手不足解消策とは、何だろうか。

産業用組み込みシステム開発などを手掛けるNDR（大阪市西区）の回答は、働く「場」を変えること。従業員の大半を占めるエンジニア、そしてそれを支えるスタッフが快適に執務できること。同社はそんなオフィスづくりを、「素敵な環境づくり」と呼んだ。

オフィスの移転プロジェクトがスタートしたのは昨年12月。エンジニア不足のなか、あえて事業拡大と従業員の増員を目指し、増床に踏み切った。150坪から220坪へと、面積は約1.5倍に。しかも新オフィスのオープンは今5月。移転先が決まり、平面図が手元に届くと即座にゾーニングに取り掛かった。オフィスを使用するすべての部署を対象にヒアリングを重ね、それぞれに必要な面積とともに「素敵な環境」にするために必要な要素を割り出していく。

この時点で、デザインのたたき台はできていた。基本デザインは広報チームの専属デザイナーが担当。試行錯誤の中、

「素敵な環境づくり」に選んだ設計テーマは、『変わらないモノ』と『変わっていくモノ』の具現化であった。

『変わらないモノ』。ものづくりへの思い。企業としての思い。そこで働く人たちの思い。クライアントへの思い。これらの息づく心。

『変わっていくモノ』。テクノロジー。そこから生み出されるプロダクト。それを生み出す働き方。そして、進んで行くにつれて移り変わる景色。

オフィスを訪れる人々に最初に企業理念を感じてもらえるエントランスは、「変わらないモノ」と「変わっていくモノ」を伝えられるもっとも大きな部分でもある。

「変わらないモノ」を表現するために選んだのは、木と石。ピッチを空けて設置したための木製ルーバーで着実に進んで行くNDRの歩みを、また石材の壁で普遍性を表現した。

一方、金属調のカウンターは「モノリス」がモチーフ。スタンリー・キューブリックが生命や宇宙、未来の象徴として生み出したモノリスを、NDRは未来を象徴する媒体に選んだ。

ミーティングの内容や目的に合わせた4タイプの会議室。セクション間で、cm単位の綱引きの末に決定したデスク

の配置。動線とデザインの両立で決めたドアの大きさ。「細部へのこだわりと言われればそれまでですが」とは、担当デザイナーの談。ひとしきり笑ったあと、「でも」と続ける。「仕事場は、活力を生み出す場所であるからこそ「素敵」でなければならないんです」。



ネクスタ代表取締役 永原氏

COMPANY NAME：株式会社 エヌ・ディー・アール / 株式会社ネクスタ

ADDRESS：大阪市西区阿波座 2-1-1 大阪本町西第一ビルディング 2F

PROJECT：移転

HP：https://ndr.co.jp/（エヌ・ディー・アール）/https://nexta-fa.co.jp/（ネクスタ）



SEMINAR REPORT

アーバンプラン初の座談会イベントを開催しました テーマは働き方・人材採用・生産性向上

アーバンプラン（東京都新宿区）は7月11日、「働き方座談会—人事採用と生産性向上を促すオフィスづくり—」を開催しました。会場となったのは、昨年オープンしたALH株式会社（東京都目黒区）の新オフィス。同社レセプションスペースには約70人が来場し、内装の雰囲気を味わいながら登壇者の話に聞き入っていました。今回の座談会は、新オフィスの整備を自社の成長・採用拡大につなげた気鋭のIT企業、ALHと、同社のオフィス構築を手掛けたアーバンプランがタッグを組んで実現したものです。多くの企業で課題とされている「働き方」「人材採用」「生産性向上」をテーマに掲げ、その解決策をパネルディスカッション形式で話し合いました。

高い関心100名超のお申込み

登壇したのは、ALHの新卒研修担当責任者・舟元剛史氏と、同じく新卒担当の大石彩乃氏。アーバンプランからは、ALHのオフィス構築を担当した石田茂勝、五味真哉、大久保亜希子の3名が登壇しました。また働き方・採用のプロフェッショナルとして、学生を育成して企業へ輩出する「人財育成」ビジネスを展開する株式会社しるべ（東京都港区）の代表取締役・早崎幸太郎氏と、同社執行役員の海前賢明氏も参加。働き方や採用、就職に関する学生と企業の動向を解き明かしました。

来場者の多くが企業経営者や人事、総務など、働き方や人材採用を担当する部署の方々。昨今企業成長に不可欠とされるワードをテーマに選んだこともあって高い関心をいただき、定員50名のところ大勢のお申込みをいただきました。急遽定員を70名に増やしましたが、それでも約230㎡の会場に並べられた椅子は満席となりました。最終的には100名超のお申込みをいただき、ご来場いただけなかった方にはInstagramで座談会の模様を中継しました。

オフィスで変わる働き方 『働く場』にもっと力を

座談会冒頭、ALHの舟元氏は「新しいオフィスを構築してまず変わったのが働き方。他社に出向している従業員はこれまでほとんど直帰していたが、新オフィスができてから会社に戻ってくるようになった」と話しました。新オフィス構築プロジェクトチームの中心メンバーでもあった舟元氏は「会場となっているこのレセプションスペースでは、イベントもできるしミーティングもできる。空いたスペースで作業もできる」と続け、「オフィスが企業を成長させる必要なファクターであるという観点を持つべき」としました。大石氏は、「以前、『あちらのオフィスの方が素敵だから』という理由で他社に採用予定者をとられたことがあった。でもこの新オフィスができてからは、ここで働きたいという人は確実に増えている」と、人材採用の観点からオフィスの持つ役割の大きさを実感したエピソードを披露しました。

しるべの海前氏は「就活生のマインドは安定志向へとシフトしている。ベンチャー志向が減り、制度や環境の充実を望む学生が増加している」と分析。早崎氏は「どんなオフィスで働くかは、採用条件とともに学生にアピールできる部分。企業はもっと力を入れるべき」と話し、オフィスが採用活動に与える影響の大きさを強調しました。また今回は参加者からの質問を、質問アプリ「Slido」で受け付けるという試みも実施しました。採用活動の実際から働き方を変えるためのヒントまで多くの質問が寄せられ、時間内にはとてもお答えしきれないほど。座談会後の懇親会では、登壇者が質問責めにあう場面も見られました。

オフィスツアーでオフィスデザインの最前線を体感

座談会終了後には、会場となったALHのオフィス内を巡るツアーを実施。コンダクターはアーバンプランのスタッフが務め、参加者は熱心に説明を聞きながら見学していました。座談会で話題となったその場所を実際に目にし、オフィスデザインの最先端を実感できる貴重な機会となりました。

クライアントの課題だった、「人材採用」や「働き方」。働く場の刷新は、その悩みを解決へと導くことにつながりました。そんな役割を果たしたオフィスを会場に、採用について、働き方について、そしてオフィスについて、参加者ともに考え、解決へと動き出す。その第一歩となるような、インタラクティブな体験。アーバンプランではそんな、オフィスのもつ力を体感できるようなイベントを、これからも企画していきます。



UP Freshers

2019年入社の新入社員をご紹介します



Q&A

- 01・入社したきっかけ 02・第一印象に残っていること 03・オフィスでお気に入りの場所 04・やりがいを感じたのは? 05・これからの抱負(目標)

01.

美大出身でなくともデザイン職になれる点。大学時代は美術美術史と英語ばかり学んでいたため、設計に関しては素人でした。ただUPには建築・美大だけでなく様々なバックグラウンドの方がいると伺ったことから、自分も学びを活かしつつ関心のあった設計やデザインの知識を養えると思い入社しました。

02.

先輩の提案なのですが、巨大な塗り絵アートです。元々は壁一面をホワイトボードにしようという話でしたが、うまく突き刺さる提案を出せずに膠着状態が続いておりました。そのような状態で先輩が提案したところ、お客様も大絶賛して即決となりました。こんなにも人をワクワクさせて、また担当の方以外まで巻き込んで作り上げた提案力に強烈な印象を受けました。

03.

都庁がよく見える会議室。
人工芝とハンモックのある「ノハラ」@新宿オフィス。

04.

ある外資系広告企業の案件で、会議室のデザインを決める際の打ち合わせです。普段の担当の方に加えて社員の方も参加して下さった為、どんどん意見が出てきて「一緒にオフィスを作る」ということを体感できました。その際、大学時代に力を入れていた英語のおかげで、担当の方が訳さなかった率直な意見も聞き取ることができたので、これまでの学びが活かされた点でもやりがいを感じました。

05.

先輩方のように、お客様から頼られるようなデザイナーになりたいです。早くひとり立ちできるよう、設計・法規・施工の知識を勉強中です。

01.

デザインに少しでも携われると思ったから。
少数精鋭なところに魅力を感じたから。
現場などに出向くことが多く、実際の空気を肌で感じられると思ったから。

02.

入社してすぐに、デザインだけでなく見積もりや資料作成などを一通り行い、プレゼンテーションをしたこと。
結果はどうあれ、プレゼンは第一印象に残りました。

03.

共有PCの席、会議室などの外の景色が見える場所。

04.

お客様の要望を落とし込んだ図面を作製し、評価してもらえたこと。一ヶ月近く現場に通っていた案件がうまく納まったこと。

05.

お客様の本質を見抜き、業者の方とも今まで以上に連携し、具体的に説得力のあるデザインを提案できるデザイナーになりたい。
デスク周りをきれいにし続けたい。
効率的に時間内に業務を終わらせられるようにしたい。

01.

自分の取り組み次第で何でも任せてもらえる環境が1番の理由です。
実際、アーバンプランは自分の行動次第で営業もデザインも設計も任せてもらえます。
誰かの努力を応援できる組織がアーバンプランです。

02.

とにかく、全員の距離が近いので、社長が気にかけてくれたり、褒めてくれたりなんてことが日常的にあります。先輩方もたくさん相談に乗ってくださるのでとても心強いです。

03.

自席です。
私だけ研修期間からずっと同じ席で...もう特等席のようですね(笑)

04.

私の初めてのお客様は一生忘れたいと思います。
初めての飛び込み営業で2件のご依頼をいただき、さらに営業・デザイン・設計のすべてを任せさせていただきました。
特にこだわったりフレッシュルームは社内で愛称を応募するなどとても気に入ってくださっているので、必死に取り組みでよかったとホッとしています。何度もお客様と打ち合わせを重ね、創り上げたオフィスを実際に使用いただいていることは最大のやりがいです。

05.

信頼を勝ち取る営業マン

01.

面接の雰囲気がとても良く、面白い社員の方が多かったのが印象的です。
サーフィンのために湘南に住みたいと考えていたので、横浜に営業所があるのはとても魅力的でした。しかも馬車道という好立地で湘南からも近く、朝シャワー代わりにサーフィンしてからの出社が可能です。社員はいろんな働き方に理解ある方ばかりで、自分のライフスタイルを崩さずに働ける環境がありました。

02.

初めて担当させていただいた案件の工事が終了した時、お客様がとても喜んでくれたことです。
それまではプライバシーがまったく守られていないレイアウトで、特に女性社員がそのことについて悩んでいました。上司やお客様と打ち合わせを重ねてレイアウトを決めていき、自分たちが考えたプランがお客様の働く環境の改善につながったと感じられたあの瞬間は今でも鮮明に覚えています。

03.

横浜営業所の中心にあるガラステーブル。
横浜営業所はデスクが壁側に向かって配置されていて、くると回れば、集まれるこのテーブルが好きです。

04.

お客様が喜んでいる姿を見るのはもちろんですが、レイアウトを考えている時に、めっちゃめっちゃいい納まりのレイアウトが完成した時。自分の成長が感じられる瞬間です。

05.

カッコいいオフィスをつくる!!!!

URBAN PLAN OFFICE



東京本社
東京都新宿区西新宿 1-25-1
新宿センタービル 34F
TEL 03-5909-0515
FAX 03-5909-0516



大阪営業所
大阪府大阪市淀川区西中島 5-5-15
新大阪セントラルタワー南館 6F
TEL 06-6306-6456
FAX 06-6306-6457



名古屋営業所
愛知県名古屋市中村区名駅 4-5-28
桜通豊田ビル 5F
TEL 052-589-9981
FAX 052-589-9982



横浜営業所
神奈川県横浜市中区本町 6-52
本町アンバービル 8F
TEL 045-226-3566
FAX 045-226-3567



ベトナム設計室
289 Nui Thanh St.Hai Chau Dist .Da
Nang City,Viet Nam

